

創刊に際して

今泉 潤太郎（教授）

愛知大学東亜同文書院大学記念センター運営委員長

愛知大学の創立経緯をたどるとき、人はみな東亜同文書院大学の存在なくして愛知大学は成立しえなかつたことに気付く。

“幻”の名門校・東亜同文書院大学とは如何なる存在であつたか、自身が東亜同文書院大学を構成する教職員、学生であつた本学創設者たちは、これを語るのに饒舌でなく、寡黙は時に禁欲的でした。

時は移り人も替り、いまは愛知大学通信等にのつた関係者の回想などから断片的にこれを知るのみである。

創立五十周年を目前に、二十一世紀への鴻図を展げんとする本学にとり、共有すべき精神と歴史の確認は必須の作業である。

愛知大学東亜同文書院記念センター報の創刊が、ささやかながらもこのために役立つことができることを切に念う。

一九九四年三月一日